

◆ サービス概要

『視覚障がい者・車椅子利用者を対象とした街なかの歩行者移動支援サービス』

サービス対象

- 視覚障がい者（市民と観光客）
- 車いす利用者（市民と観光客）

サービスの特徴

- NWDの効率的な整備方法。
- 視覚障害者のための自律移動支援アプリの開発

◆ 協議会メンバー

協議会構成機関名	役割
●松江市保健福祉課	○バリア情報の提供 ○広報
●特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい ●社会福祉法人ふらっと ●ライトハウスライブラリー ●島根県視覚障害者福祉協会	○企画立案、全体調整、広報、歩行空間ネットワークデータ作成 ○効果の検証（車いす使用車） ○広報、効果の検証、歩行ルートアドバイス（視覚障がい者） ○効果の検証（視覚障がい者）
●システム工房エム	○サービスの開発・運用サポート
●島根大学 杉崎千洋教授	○技術的な知識やノウハウに関する助言 ○協議会の取りまとめ

◆ 経緯・スケジュール

H25年度：国土交通省ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業実施箇所へ選定（H25.7月）
第1回協議会開催（H25.9） 第2回協議会開催予定（H25.12）
実証実験開始（H26.1以降） サービス公開・運用開始（H26.3予定）

◆ サービスエリア図 [松江市中心部約4km²]



視覚障害者向け推奨20ルートをテキストで紹介（PCのウェブブラウザで音声読み上げ）

- 4) まっすぐ10メートルすすみます
- 5) 警告ブロックがあり、左に点字ブロックに沿ってまがります。
- 6) 4.0メートル進むと歩道の段差があり、交差点になります。交差点には信号はありませんが、横断歩道があり、エスコートゾーンが設置されています。
- 7) 幅2.0mの横断歩道をわたります。

図. 音声案内のイメージ

視覚障害者自身が自律的に移動できるよう支援。（サービスの流れ）

- ・視覚障害者本人または介助者が予め目的地・通過地点を登録※（入力補助機能あり）
 - ・目的地、通過地点を読み上げ機能で選択
 - ・目的地までの距離、方向、現在地の住所、端末向きの方向を振動、音声で説明する。
 - ・通過ポイントも振動・音声で説明。音声によりポイント名を確認できる。
- ※将来、歩行空間ネットワークデータの活用も視野



図. てくてくナビの画面イメージ

◆ サービスの先進性

視覚障がい者の歩行支援

- 視覚障がい者歩行者移動支援アプリ開発
- 視覚障害者のためのバス移動を含めた2点間の歩行経路案内
- バス停からのバリアフリー経路案内